

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.33

発行日 2018. 9. 21

発行責任者 西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10

TEL・FAX 093-662-9278

E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp



前回の参加者を更新!

9月16日(日)の第17回月例マラソンは、前回の63名を更に上回る68名が参加しました。

この日、新しく月例マラソンに登録された方は10名で、これまでに205名の方が登録されました。

今回も競技開始時の午前9時には29度になりました。5キロを走ったランナーは「蒸し暑く、体感的には前回と変わらない。」と感想

を述べていました。新規登録の大村亜矢さんは5キロと10キロに出場し、初めて走った感想を聞くと「単にサイクリング道を往復するのと違って、スタートして一キロトラックを周回して、サイクリング道を走るのが良い。気がまぎれる。」と述べていました。

受付スタッフの高橋さんから「今日、堤先生が亡くなりました。」との情報が入りました。高橋さんの娘さんは折尾愛真高校女子駅伝部のOBです。

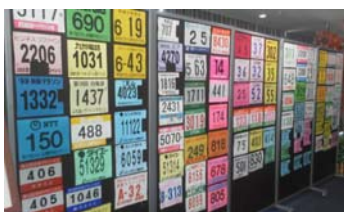
堤恵子先生は折尾愛真高校女子駅伝部の監督として、北九州ランニングセンターに団体加盟して、月例マラソンに生徒を連れて参加をして頂きました。堤恵子先生自身も45歳の時に、北九州ランニングセンター主催の“鱒淵マラソン大会”に出場されて、ハーフマラソンを1時間23分35秒で走り優勝しました。先日、FRC ニュース No.30でお知らせしたように、4月23日には田中宏暁福岡大学名誉教授が亡くなったばかりです。段々さみしくなりますが、せめて我々は先人の遺志を引き継いで長生きをしなければと思う次第です。

人生を全力で走った堤恵子先生(享年63歳)

9月18日の葬儀に西村が参加しました。まずビックリしたのがロビーに飾ってあったゼッケンとトロフィーとメダルの量。ハンパない!

手渡された「しおり」には「走る喜びを心と体で感じながら、常に前向きに人生を駆け抜けた妻でした。」と書かれてありました。そして「昨年一月に病が発覚し、治療・リハビリに励む中、辛い治療にも耐え復帰を目指す妻の姿に、夢が実現することを願い見守って参りましたが、その思いは叶わず

16日未明、永眠しました。生駒恵子の名で皆様に親しまれ、勝つ事が当たり前前のプレッシャーを乗り越えながら、充実したアスリート人生を歩んだ妻でした。引退後は教職の道に携わり、また一人の市民ランナーとして東京国際マラソンなどに参加する傍ら、折尾愛真高校に女子駅伝部を創設し、指導者の道を歩んでおりました・・・」



式場で上映された思い出のDVDの中に、「鱒淵マラソン」を走る彼女の姿が出てきました。また、広島に原子爆弾が投下された8月6日の「ひろしま平和マラソン」の横断幕の前に立つ彼女の姿がありました。平和を愛したランナーでもありました。

ロビーのゼッケンの中に「新春マラソン」のゼッケンもありました。どんなゼッケンも大切に保存!頭の下がる思いです。

〈役員だより〉

8月25・26日、ウォーキング協議会の月例会に参加(飯田高原トライアル温泉郷に宿泊)。1日目は久住高原のクロカンコースをラン9キロ、ウォーク3キロ。2日目は牧ノ戸峠より久住登山(筋肉痛発生!)。9月15・16日、県庁マラソンクラブの合宿に参加。1日目は1周6キロのロードコースを2周(殆どウォーク)。2日目はやまなみクロカンコースを10キロラン、ロードをウォーク3キロ(筋肉痛発生!!)。日頃の運動不足を痛感したところです。(淵上)

今年には神奈川県で開催されます。本来、福岡県内のスポーツ祭典陸上競技大会をして派遣するところですが、開催していませんので出場希望者に参加をしていただくことにしました。

福岡ランニングセンターの会員は参加費を補助します。また、会員でない方は参加費の補助は出来ませんが、福岡ランニングセンターの推薦をします。

参加希望者は9月末までに、北九州事務所までお申込みください。

期日：2018年11月11日(日)受付開始8:30～(予定)

会場：大和市営大和スポーツセンター陸上競技場(競技場コード：143180)

※大会要項、参加申込書は同封別紙資料を参照してください。